2026 年 2 月 16 日

『時事直言』読者の皆様へ

時事評論家 増田俊男

小冊子 Vol.156 のご案内

題名:**高市早苗主導の Japan as No.1**(ジャパン・アズ・ナンバーワン)
内容を変えました。

はじめに　要約 2026 年変わる世界秩序
第 1 章　高市はこうして日本経済死に体を終わらせた
第 2 章　データ(事実)で負けて名目(フェイク)で勝つアメリカ
第 3 章 トランプ、習近平、プーチンの仲間入りが出来るか高市早苗
第 4 章　米中二大国体制 G2 と日本の立ち位置
第 5 章　高市主早苗の異質ジャパン・アズ・ナンバーワン
第 6 章　日経平均 10 万円は安過ぎる！
第 7 章　本当に豊かな日本人モデル
終わりに　四十七士(速水藤左ヱ門)末裔増田俊男の決意

日本にとっても世界にとっても 2026 年は大転換期である。
それは考え方、価値観、行動指針と戦略の大転換である。
戦後アメリカ主導で築かれた民主主義、人道主義、国際協調主義、地球環境国際活動、疫病、貧困撲滅運動等々がトランプ(アメリカ)によってボイコットされている。
トランプ主導の自国ファースト、自分ファーストは溺れる子供を救わない。
トランプの衝撃に対して主要国の首脳は守的現状維持ではなく結束して新たな方向を模索しようとしている。
トランプにとっては同盟国も非米、反米国も敵であり、競争相手である。
トランプは相手国に対しては関税と政治力(相手首脳の好き嫌い)を武器にして戦う。
停戦交渉は一対一の相互で行い集団交渉はしない。
大勢の相手より個別相手の方が弱いからである。
だからカナダを含む欧州は結束、団結を急いでいるが、十人十色の欧州の結束は難しい。
トランプはハンガリーのオルバン首相やトルコのエルドアン大統領を抱き込むなどして欧州分断を諮っている。
安全をアメリカに委ねている日本はアメリカに追従せざるを得ないが、G2(米中二大国体制)でトランプが習近平より有利になる為に高市早苗が必要なら(必要は発明の母だから)高市はトランプ、習近平と肩を並べることが出来る。
国内政治で幸運な高市は国際政治でも頭角を現せるチャンスが目前にある！

日本人として胸を張って世界を歩くことを望む者は「小冊子 Vol,156」は必読！
私の小冊子 Vol. 156 お申込みは、 https://www.musrjec.com/

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。